

県もモデル事業実施へ

**神奈川県議会議員
民主党・かながわクラブ きしひべ 都**

県は「共に学び共に育つ」進ど地域での自立促進の仕事という理念で、子どもたち組み作りが提言されました。成長の過程で様々な人と出会い、立場を超えて理解し、学びあえる、誰をも包み込む「インクルーシブな教育」を目指しています。

昨年の「神奈川の教育を考える調査会最終まとめ」でもインクルーシブ教育の推進が求められています。千々輪ビル1階

県は6月の補正予算でインクルーシブな教育の推進として文部科学省からの委託を受け、釜利谷高校と綾瀬西高で特別支援教育に関する研究（通級や個別指導等、学習支援の方法や授業の工夫改善等）を実施しま

す。学校現場などの要望がようやく事業化されます。県のほとんどの小中学校に特別支援学級が設置されています。今後LD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）等、通常学級の「支援が必要な子ども」が適切な指導を受ける仕組み作りは、「みんなの教室」モデル事業を試行し、効果や課題を検証します。

同時に新たな理解啓発事業と人材育成も行います。横浜市の先行実践を参考に成果を全県で共有し、幼稚園から高校までの連続したインクルーシブな学校作りを推進することが重要です。子どもの社会性が育まることを期待します。



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています

きしひべ都政務活動事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>